

氏名：田中 二郎 (筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授)		
略歴： 1975年 東京大学理学部卒 1977年 同大学院理学系研究科修士課程修了 1984年 米国ユタ大学計算機科学科博士課程修了 1984年 富士通株式会社入社 1985年～1988年 財団法人新世代コンピュータ技術開発機構(ICOT)勤務 1993年～ 筑波大学電子・情報工学系助教授 現在 筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授 (http://www.iplab.cs.tsukuba.ac.jp/jiro-j.html)	専門分野：B, D, G	
	専門分野(詳細)：ユビキタスソフトウェア、日常的な作業を支援するソフトウェア、ユビキタス教育応用、Webや情報検索の応用、Web2.0の分野、GUI、ビジュアルプログラミング	
公募対象プロジェクト： ●生活空間におけるアンビエントな情報提示の利用技術 ●Webカメラを利用したシステムやコミュニケーション支援、センサデバイスおよびセンサ情報処理を利用したシステム ●ユビキタスなシステムや手書きの教育応用、(大画面ディスプレイ、タブレットPCやPDA等での)手書き入力を活用したシステムやツール、新しいコンセプトに基づく描画ツール ●Webブラウザや情報検索インタフェース、Web API、Google API、ブラウザのプラグインを利用したプログラミング、Web2.0的システム ●ソーシャルネットワーク、Blog、チャットなどを利用したシステム ●創造支援、発想支援、スケジュール支援など人間の知的な作業を支援するシステム ●モデリングやアニメーション作成の支援システム、3Dプログラミング、ゲームプログラミング ●エンドユーザコンピューティングのためのスクリプト言語、ビジュアル言語の開発 これらに限らず、上の 専門分野(詳細) に関連したテーマであれば受け付けます。		
提案テーマ詳細説明の記入要領 及び 審査基準 記入要領： 以下の内容を様式3【提案テーマ詳細説明】として、10ページ程度で記述してください。 1. 提案プロジェクトのタイトルと概要(半ページ程度) 2. 既存のシステムの問題点、プロジェクトの効果(1ページ程度) 既存のシステムの問題点を明記し、特に何が問題を記述してください。また本提案の開発が終了したとき、それが社会にもたらす効果を書いてください。 3. 目標、提案内容(5ページ程度) 何をどのような方法で解決し、どのようなソフトウェアを開発するのかを書いてください。システムの概略や画面イメージ等を表す図を含めてください。アイデアのユニークさ、従来手法とどこが違うかを明確に記述してください。 4. 準備状況(1ページ程度) プロジェクトで用いる技術、機材、利用可能なソフトウェアモジュールなどについて現在の準備状況を記載してください。 5. 具体的な開発計画(内容、開発体制、スケジュール、費用)(2ページ程度) 限られた日程で目標を達成するために、ソフトウェアをどのような体制で開発し、どのようにプロジェクトを進めるかを、申請する予算との関連を示しながら具体的に書いてください。開発者の自己アピールがあればそれも書いてください。 審査基準： 新規性については、とにかくアイデアの面白さを第一に評価します。またアイデアを実現可能とするための開発能力を持つことも重要です。テーマは短期的な有用性が見込めるものでも中長期的な社会的有用性が見込めるものでもどちらでも可とします。後者の場合にはある程度未完でも将来性がありそうな提案を歓迎します。いずれも、提案されたソフトウェアが実現可能で、終了時にデモ可能であることは必須です。		
採択予定数 (予算枠30,000千円位)	6件程度を予定(2008年度上期・下期合計として6件程度)	
採択しようとする 応募者の条件	とくになし。実装に熱意を持つ若手を歓迎します。	
プロジェクトの 進捗管理、指導方針	キックオフ、中間報告会、最終報告会の他、月1回程度メールで進捗を報告。必要に応じて個別打ち合わせを適宜実施。	
指導観点	人材育成の循環への貢献	ビジネスマインドの醸成